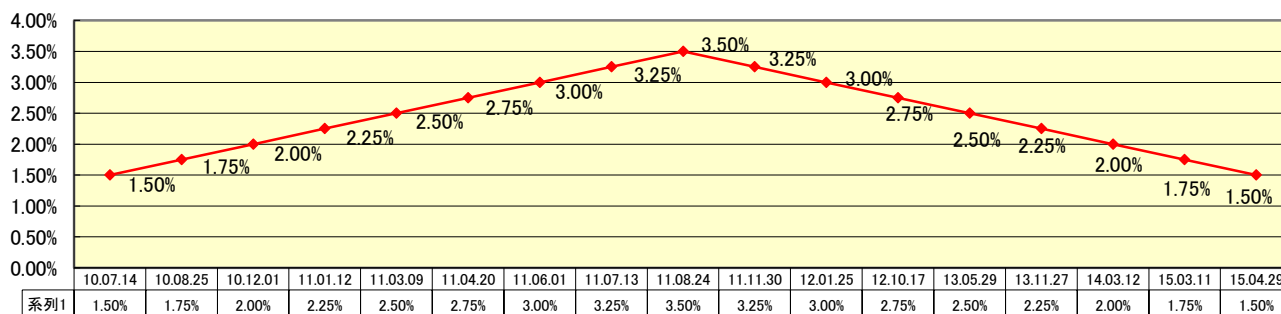


【バンコック駐在員事務所】

「タイの政策金利引下げについて」

タイ中央銀行は4月29日の金融政策委員会(MPC)の会議で、政策金利である1日物レポ金利を年1.75%から1.50%に引き下げ、即日実施することを決定しました。金利引き下げは3月11日に続き2回連続です。今年第1・四半期(1~3月)のタイ経済は財政支出の拡大や観光収入の増加といったプラス要因はあるものの、輸出や民間消費の低迷によるマイナス効果が相殺されるまでには至っていません。据え置きを予想する観測が多かったことから「サプライズ」と受け止められていますが、今後も経済の低下リスクが高まる懸念があり、追加的金融緩和が必要と判断したものです。

政策金利となる1日物レポ金利の推移



【市中の金利の動向】

※ タイの大手銀行4行の平均金利(月末値)、*は2015年5月11日現在

	定期預金金利		貸出金利 (MLR)
	3ヵ月物	12ヵ月物	
2014年6月	1.315%	1.850%	6.750%
2014年7月	1.315%	1.725%	6.750%
2014年8月	1.315%	1.725%	6.750%
2014年9月	1.315%	1.725%	6.750%
2014年10月	1.315%	1.725%	6.750%
2014年11月	1.315%	1.725%	6.750%
2014年12月	1.303%	1.725%	6.750%
2015年1月	1.253%	1.725%	6.750%
2015年2月	1.253%	1.725%	6.750%
2015年3月	0.989%	1.531%	6.625%
2015年4月	0.975%	1.531%	6.626%
2015年5月*	0.975%	1.531%	6.626%

【出所:タイ中央銀行】

国際事業部 (東京) 電話 03-6704-2723
(大阪) 電話 06-6268-6357

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいますようお願い致します。
* 禁無断転載